

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道恵庭市 島松駅横駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	12	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,334
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
109	100	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%) 【619.1】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	96.3	99.5	196.5	186.6	162.0
平均値	419.4	371.0	509.2	378.1	756.6

②他会計補助金比率(%) 【2.3】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	3.2	2.9	6.0	3.8	2.0

③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円) 【17】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	0	0	0	0	0
平均値	22	16	21	17	15

④売上高GOP比率(%) 【20.8】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	89.7	47.9	49.4	47.7	38.3
平均値	38.2	34.6	37.6	30.2	33.9

⑤EBITDA(千円) 【14,290】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	3,943	4,193	4,648	4,524	3,171
平均値	6,967	7,138	8,131	8,076	8,265

3. 利用の状況

⑥稼働率(%) 【205.9】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	67.0	67.0	78.0	78.0	70.6
平均値	269.0	276.6	274.8	275.5	289.2

分析欄

1. 収益等の状況について
 恵庭市の駐車場事業は市内6カ所にて管理・運営を行っており、平成19年～22年にかけて行った駐車場全体の整備に要した起債の償還に対しては、経常収入や基金からの繰入のほか、平成25年～29年までは一時的に一般会計からの繰入を行い対応してきたところですが、他会計補助金比率はゼロとなっています。
 本年度より市内駐車場にかかる経費の考え方を整理したことが要因の一つではありますが、各指標については一定の水準は保っているものの平成29年度から連続して下がっている状況であることから、より一層の利用増及び収益の改善に向けた取組が必要です。

2. 資産等の状況について
 当駐車場は平成19年度に整備した青空駐車場であり、固定資産は土地及び一部の機器類のみですが、機器は導入後10年以上経過しており、残存価値はほとんどなく故障対応も増加してきている状況であるため、今後の大規模更新を視野に入れていく必要があります。
 土地についてはJR駅隣接という立地条件上、地価は非常に高いものとなっています。
 当初整備分の償還は既に終了し、その後大規模更新を行っていないため、企業債残高対料金収入比率はゼロとなっています。

3. 利用の状況について
 当駐車場はJR駅、文化施設に隣接しておりますが、利用の中心は通勤者をはじめとした日中に長時間の駐車を行うJR駅利用者であるため、回転率及び稼働率の値は高くなっていない傾向にあります。
 利用実績が減少してきている状況ではありますが、過去の年度においては定期券の一時停止を行ったこともあり、一定の需要は存在していると考えられるため、より一層の利用増のための取組が必要になってきます。
 月毎の利用を見ると、3月度から新型コロナウイルスの影響を受け利用者が激減したため、今後の利用状況には注視が必要です。

2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値					
平均値					

⑦敷地の地価(千円)

50,638

⑧設備投資見込額(千円)

29,021

⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値					
平均値					

⑩企業債残高対料金収入比率(%) 【425.4】

年度	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	107.9	48.0	0.0	0.0	0.0
平均値	70.5	59.2	62.4	83.1	54.7

全体総括
 当市が有する市内6カ所の駐車場については、全てがJR駅周辺に位置しているため、利便性が高く周知も広まってきたこともあり、ある程度安定した利用がありますが、当駐車場については近年の利用が減少傾向にあります。
 次年度以降は新型コロナウイルスの影響によりさらなる減収が見込まれていることから、利用人数や収支の状況の推移にも注視しながら、今後の老朽化の進んでいる設備の更新等を見据えた利用増及び収益状況の改善に努めていく必要があります。